

「エコシティたかつ」 ベースマップ 「(仮称)たかつ流域ステーション」について

1. 目的・概要

健全な水循環や生物多様性の回復・保全に配慮した地球温暖化対策・適応策を特定地域において実施するためには、地域を構成する生態系の地形的な基本枠組である自然ランドスケープ（大地の凸凹）に配慮した情報の收拾、分析、対応策の整理・発信が不可欠です。

そのため、区内を小流域に分割し、生物の種の多様性や緑地、湿地の配置や、治水、土砂災害などに関する過去・現在の情報を收拾・整理し、小流域ごとの課題を抽出し、市民・行政等が課題ならびに課題解決のための基本情報を継続的に共有してゆくためのものです。

※ 小流域：水系に雨水の集まる大地の領域

2. 活用方法

生物多様性の回復・保全への寄与や複合型水災害へも対応できるよう、市内で生活している人々の生の情報を収集していく仕組みも、今後工夫します(市民調査員による GPS 携帯電話等を活用した情報収集も試行する)。

3. スケジュール

12 月末まで

一定程度の行政情報の整理を行なう。

1、2 月に、市民情報のモデル登録として、「水と緑の探検隊」モデル調査を実施し、その結果を反映させる。

3 月まで

デジタルデータとして作成整備する。

基本情報を整理し、ホームページ「(仮称)たかつ流域エコ・ステーション」に収容する。公開可能な部分については、「エコシティたかつ」のホームページで公開する。

4. イメージ

右図を参照ください。

防災情報が入っている部分です。

